



高校見学に行く際の留意事項

- 1、志望校はすべて実際に行く
 - 第1志望校に限らず、受験するすべての学校（私立・公立問わず）に実際に赴く。
 - 多くの学校で、説明会や体験入学の予約が必要な場合がある。各校のホームページを確認し、期限内に予約を取る。
 - 交通手段の確認しておく。平日と休日では、バスや電車のダイヤが違うため、確認が必要。受験当日も自転車で行かないため、必ず徒歩や公共交通機関を利用して行く。
 - 余裕を持って行動し、事故等には十分気をつける。
 - 可能な限り保護者の方と一緒に行く。
- 2、当日の身だしなみ
 - 必ず制服を着用する。靴や靴下、持参するバッグなど派手なものは避け、中学生らしい身だしなみで参加する。
 - 髪型についても、中学生らしい髪型や髪色を心掛け、誰が見ても清潔な状態にする。
 - 持ち物には十分留意する。各校の学校説明会等で、不要なもの(自分でよく考えて)を持参することがないようにする。周りの第三者から見ても、不自然、不愉快な振る舞いはしない。
- 3、見学時の留意点
 - 自宅から訪問先の学校までの所要時間を理解する。
 - 説明会はもちろんのこと、個別相談会や部活動見学にも積極的に足を運ぶ。
 - 進路ノートを持参し、必要に応じて目を取り、進学希望先の情報を書き記す。
 - 見学先の学校の施設や教育方針について、実際に肌で感じ、進路決定に向けた判断材料を収集する。
 - 一人ひとりが「柏中生」というひとくくりで判断されます。あなた一人の行動や立ち居振る舞いが、仲間や後輩、卒業生に迷惑をかけることにつながりことがあります。そのような事態にならないように、緊張感を持って行動する。
- 4、夏休み明けについて
 - 訪問した記録を、進路ノートP52～の「学校見学・一日体験入学の記録」の記入。
 - 9月2日（月）に進路ノートを担任へ提出する。

1週間後には夏休みが始まります。体調管理には十分気を付け、過ごしてください。夏休み中に、苦手な教科の基礎基本についてよく復習しておきましょう。また、校長先生もよくおっしゃっていますが、吉田松陰の言葉に「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に、実行無し、実行なき者に成功なし、故に夢なき者に成功なし」という言葉があります。夢ばかり見ていると始まりません。まずは、行動を起こせる夏休みにしてほしいと思います。頑張り受験生！！